令和２年度自己評価結果公表シート

学校法人聖リゴリオ学園
ちのせいぼ幼稚園

Ⅰ. 本園の教育目標

1. 幼児に適切な環境を与え、心身の発達を助長させる
2. 「神の前に生きる子ども」「ひかりの子」の意識を育てる
3. 善良な人格形成と良い生活習慣を身につけさせる

な　仲間を大切にし
か　感謝の心を忘れずに
よ　喜んで困難に立ち向かい
し　親切で優しい心を育てます

Ⅱ. 本年度の重点的に取り組む目標・計画

年長児　様々な体験を通して、達成感や充実感を味わい、意欲的に活動に取り組む
・友だちと力をあわせ、助け合いの心を育む
・困難なこともあきらめず取り組み、達成感や喜びを味わう。

年中児　相手の思いを受け入れ、自分の思いを素直に伝える
・自分の思いや考えを伝えるとともに、相手の思いにも気づき受け入れようとする。

年少児　園生活の流れや生活の仕方が分かり、自分なりにやってみようとする
・安心して園生活を送り、自分をのびのびと表す。
・保育者や友だちに親しみを持つ。

Ⅲ. 評価項目の達成及び取組状況

評価の基準　A:十分達成できた　B:おおむね達成している
C:あまり達成できなかった　D:ほとんど達成できなかった

評価項目		取組み状況	評価
幼稚園管理運営	幼稚園の教育目標と重点目標の周知	◆ 幼稚園の教育目標を具体的な言葉で表し、園が目指す幼児の姿を明確にして保護者に周知している。 ◆ 全職員で共通理解を計りながら、クラス、学年、園全体の教育活動の充実を図っている。	A
	危機管理体制の整備	◆ 危機管理マニュアルの中で、各職員の役割を明確にし、周知徹底している。 ◆ 避難訓練を計画的に実施し、緊急事態への備えを万全にしている。 ◆ 園内での事故を無くすための工夫と努力が十分になされている。	A
	家庭、地域、関係機関への情報発信	◆ 園から適切な情報を発信し、家庭や地域社会への幼稚園教育に対する理解を高める取り組みをしている。 ◆ 参観や行事への参加は日程に配慮し、定期的に実施している。 ◆ 関係機関との連携が十分なされるよう努力している。	A

教育活動	教育目標に基づいた教育計画の編成と実施のための教職員の共通理解	◆ 宗教教育の方針に沿い、教職員間の共通理解のもとに指導計画が立てられている。 ◆ 教育の分野・家庭に添い、教職員間の共通理解のもとに指導計画が立てられている。 ◆ クラス・学年の活動の中で、社会性を育むよう指導がなされている。 ◆ 心をこめた挨拶ができるよう、自らが手本となり十分な指導がされている。 ◆ 子どもの想像力や行動力を豊かに育むための指導を積極的に行なっている	A
	発達段階に則した適切な幼児の環境理解	◆ 1人ひとりの子どもを大切にし、発達段階に応じた適切な指導、援助を徹底している。 ◆ 自主的、主体的に取り組めるよう、環境に十分配慮を行なっている。 ◆ 身近な自然や社会と関わり、豊かな情操が育めるよう環境に十分配慮している。	A
	幼稚園と小学校との円滑な連携	◆ 就学に向け、学校での教育内容や生活について情報を収集し、適切かつ十分な指導を行なっている。 ◆ 配慮の必要な子どもについて、必要な情報を小学校と共有し十分な連携が行われている。	A
	教員の資質向上、研究、研修の充実	◆ 学園研修・園内研修に積極的に参加することにより、知識、技術、技能の向上が図られている。 ◆ 外部の研修会や研究会（リモート研修含む）に積極的に参加することにより、知識、技術、技能の向上が図られている。 ◆ キリスト教精神に基づく奉仕と感謝のこころで他の職員と協力して前向きに日々の職務にあたっている。	B

Ⅳ.学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

【総合評価】 A	コロナ禍での教育活動は、例年とは違ったものになったが、教育・保育内容、行事、感染症対応について概ね高評価を頂き、日頃の努力の成果が表れた。できないことが多くある中で、できる事を考え、また新たな方法や取組みに挑戦することができた。終息の見えないコロナ禍の中、今後も最善の方法を考えながら教育活動を充実させていく努力をしていく必要がある。 コロナ禍で多くの研修が中止やリモート対応となり、日程調整や時間確保に苦労した。職員の技能向上のため、できるだけ研修に参加できるよう努めたい。

Ⅴ. 今後取り組むべき課題

- ◆ 新型コロナウイルス感染症対応について考えられる対応を行ってきた。今後も状況を注視し、最善の対応をする。
- ◆ 新型コロナウイルス感染症対応を行う中で、行事のあり方の見直しを行う良い機会となった。コロナ禍及びコロナ後の園生活の中で、必要なものと不要なものをしっかりと精査し、子どもたち・保護者・保育者がともに満足のできるものとなるよう検討することが必要となる。また、積極的に新たな方法も取り入れていきたい。
- ◆ 認定こども園に移行し 1 年が過ぎたが、保護者に不安なく受け入れて頂けたと考える。今後もより一層の教育活動の充実、保護者への丁寧な説明に努めていきたい。

- 新しく導入した保育システムは、大半の方に便利に使ってもらえているが、不便な点や改善が必要な点も見えてきた。今後より使いやすいものとなるよう、利用方法を検討していきたい。併せて保育システムにうまく合致した保育内容・保護者との連絡方法についても考えていきたい。
- 新しい試みとして、『一日せんせい体験』を導入。コロナ禍での開始となったため、今年度は年長児保護者のみの実施となった。来年度以降も取り組み、子どもたちの育ち、保護者の育ち、保育者の育ち、園の育ちに繋がるような活動にしていきたい。

Ⅵ. 学校評価委員会の評価

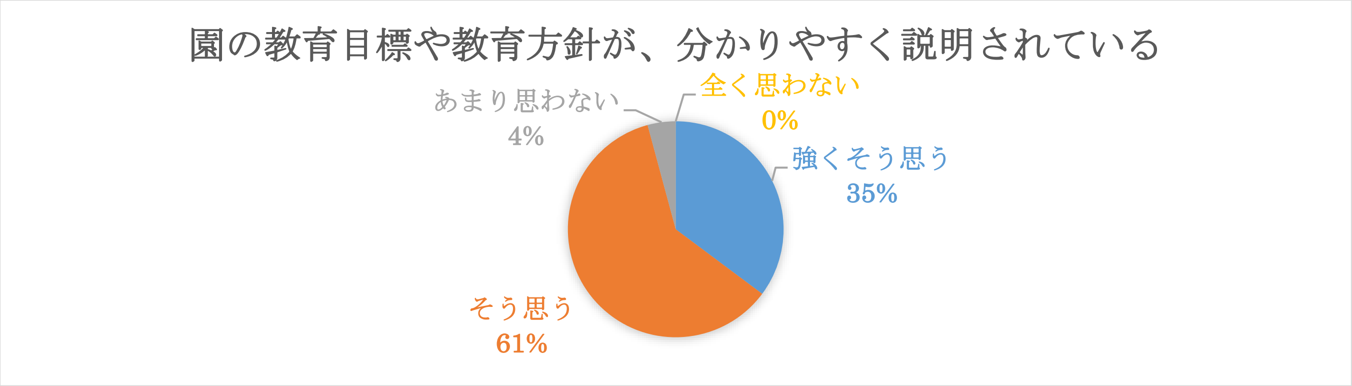
総合的に見ておおむね達成できているという評価を得た。その他下記の様な意見を頂いた。

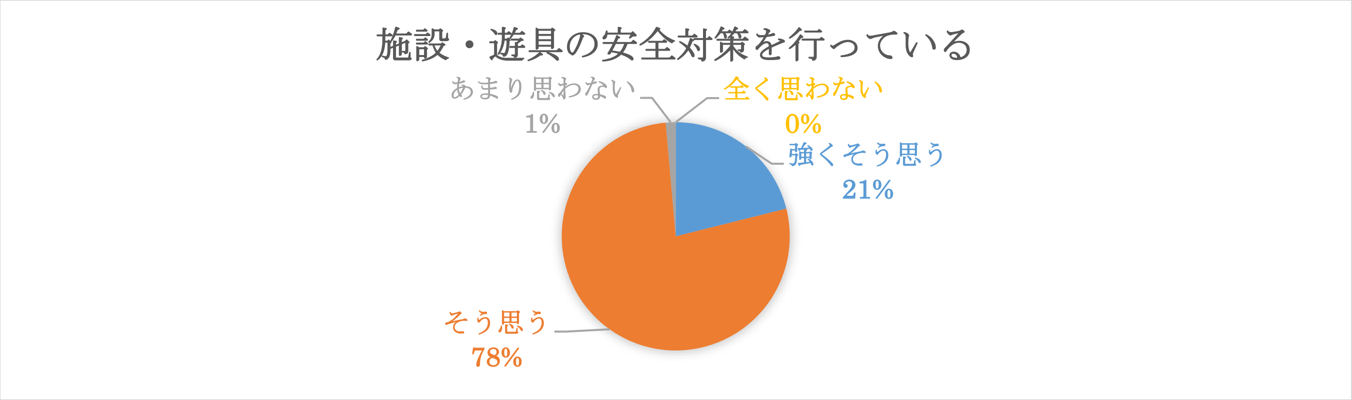
- 新型コロナウイルス感染症対応のための活動規制を感じさせないくらい子どもたちは楽しい幼稚園生活ができているように思う。園の努力を感じる。
- 地域に開かれた幼稚園とはどのようなものなのか、園としての考え方によって活動内容も変わってくる。園としてどのような目標にするのかを考えながら取り組んでいってもらいたい。
- 環境整備がとても良くなっている。今後も努力されたい。
- キリスト教精神、モンテッソーリ精神が子どもたちに伝わっている。今後も応援したい。

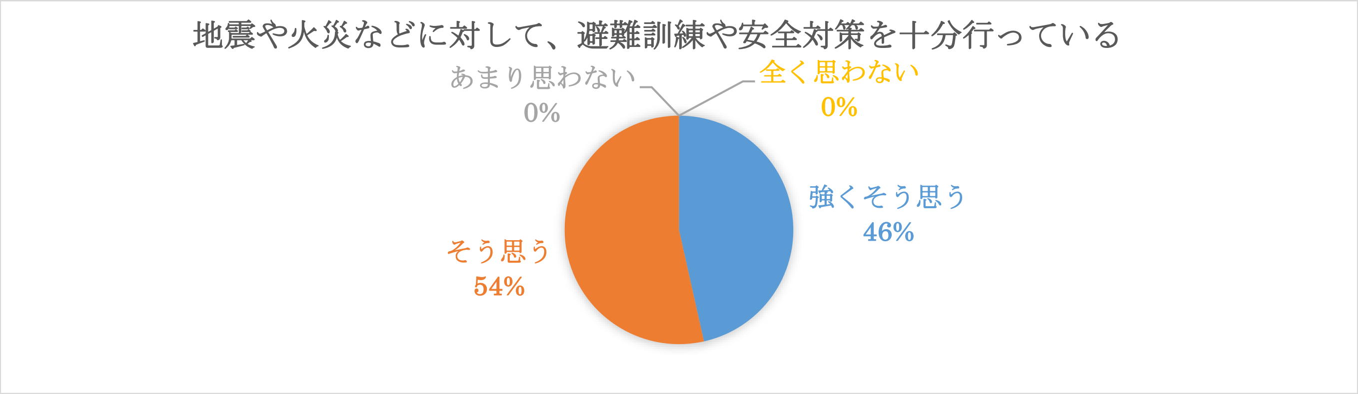
Ⅶ. 財務状況

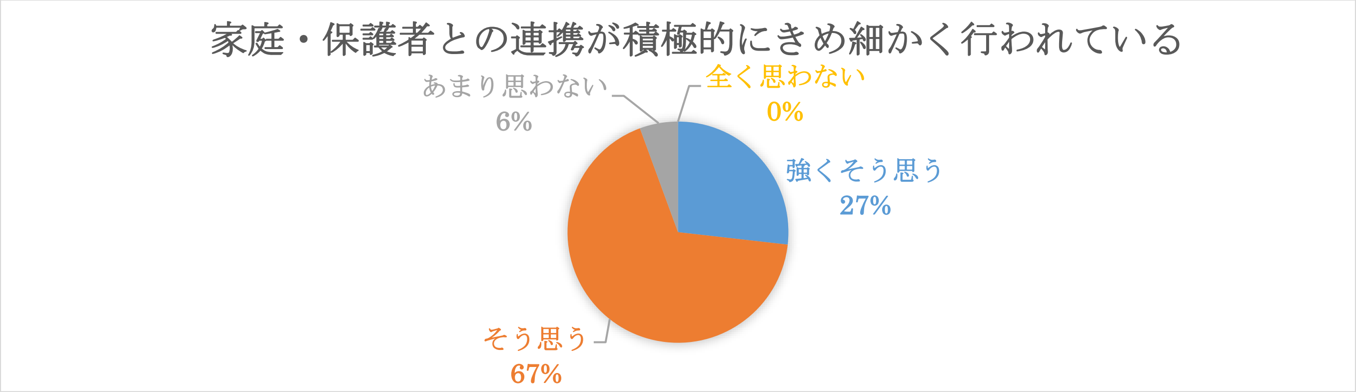
公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。

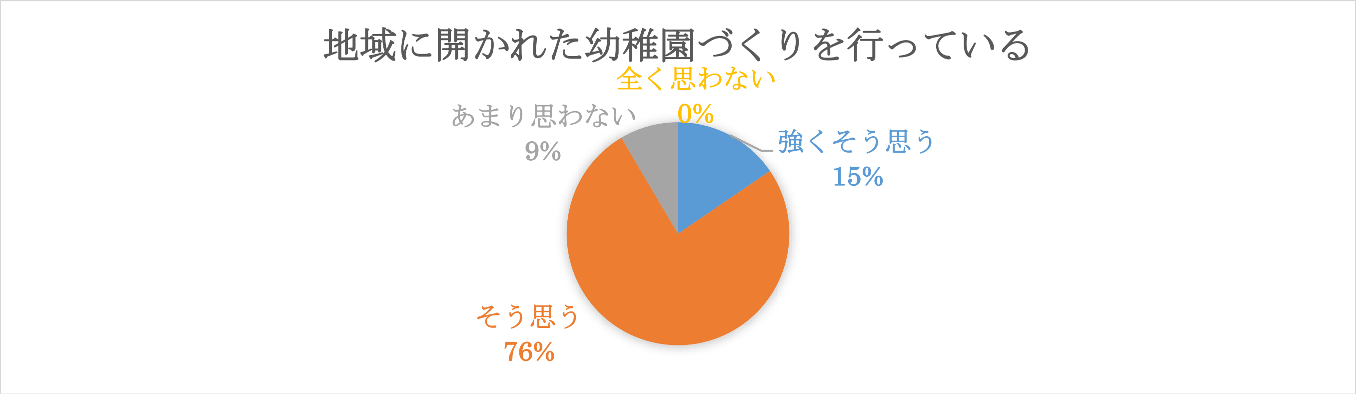
Ⅷ. 保護者アンケート集計結果

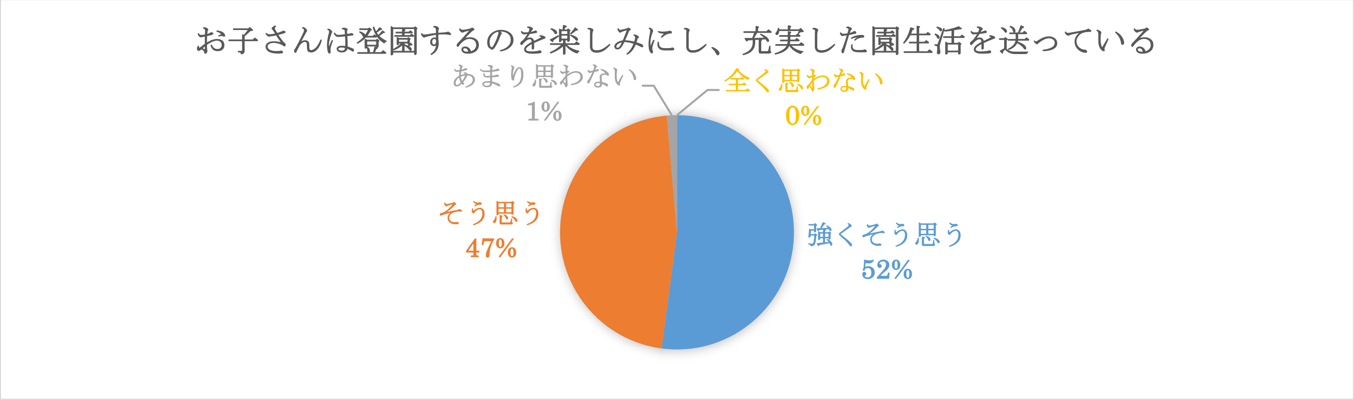


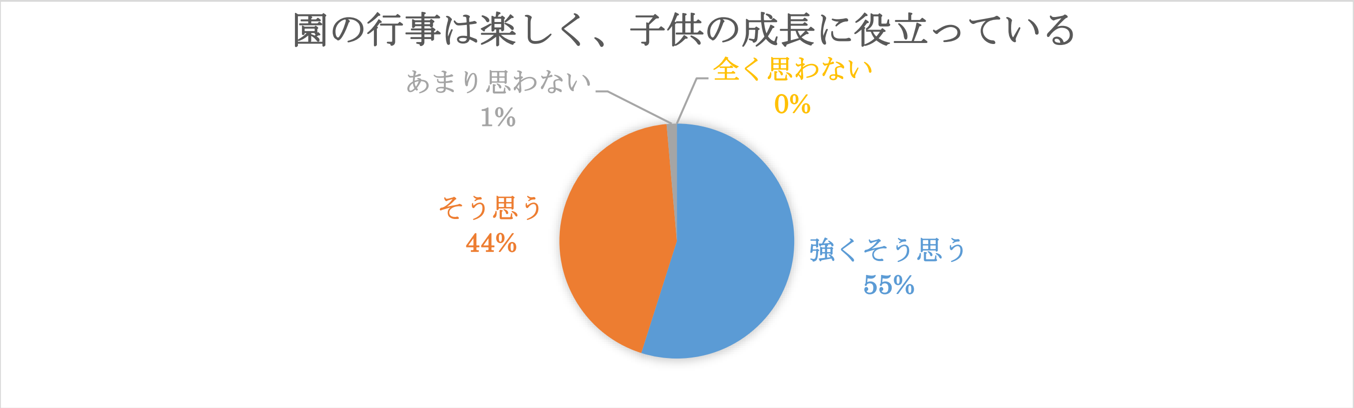


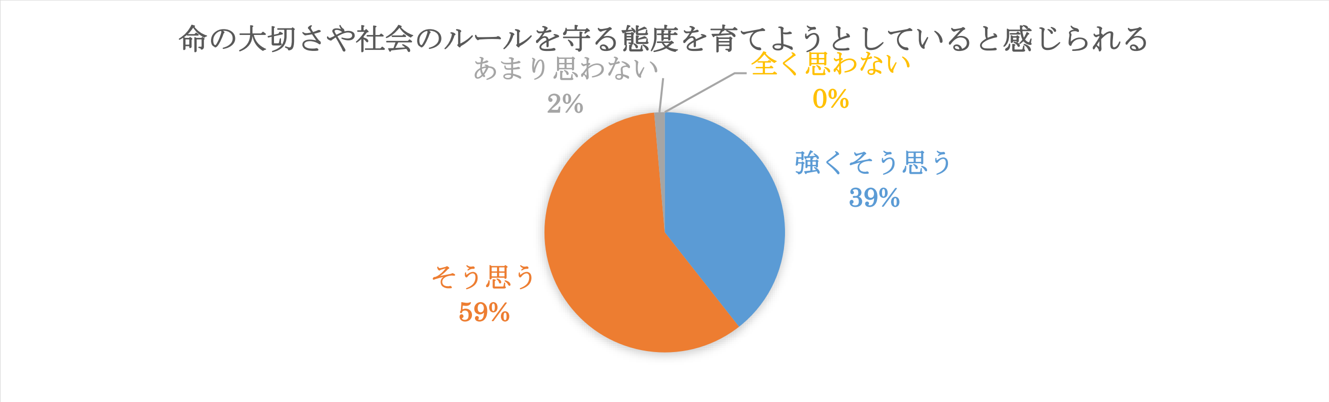

地震や火災などに対して、避難訓練や安全対策を十分行っている
あまり思わない
0%
全く思わない
0%
強くそう思う
46%
そう思う
54%

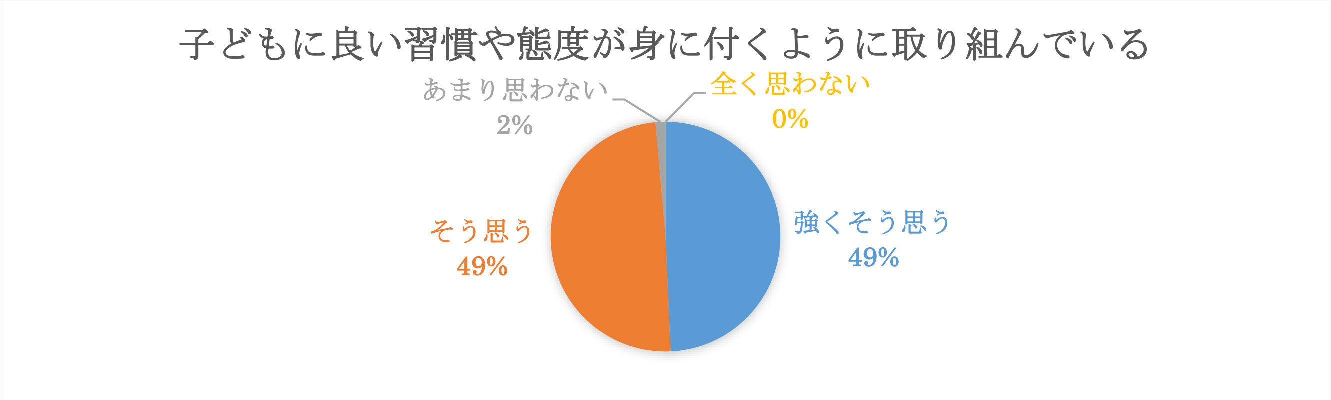

家庭・保護者との連携が積極的にきめ細かく行われている
あまり思わない
6%
全く思わない
0%
強くそう思う
27%
そう思う
67%

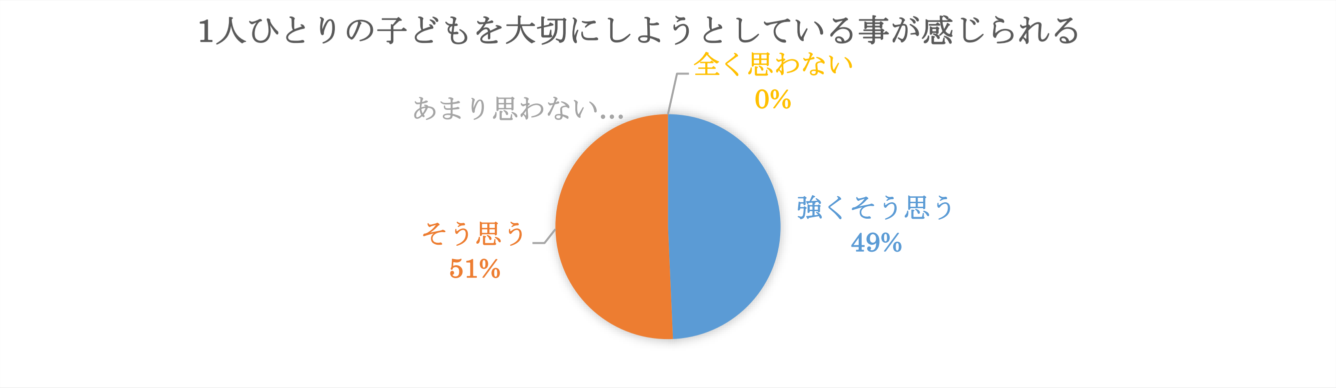

地域に開かれた幼稚園づくりを行っている
全く思わない
0%
あまり思わない
9%
強くそう思う
15%
そう思う
76%

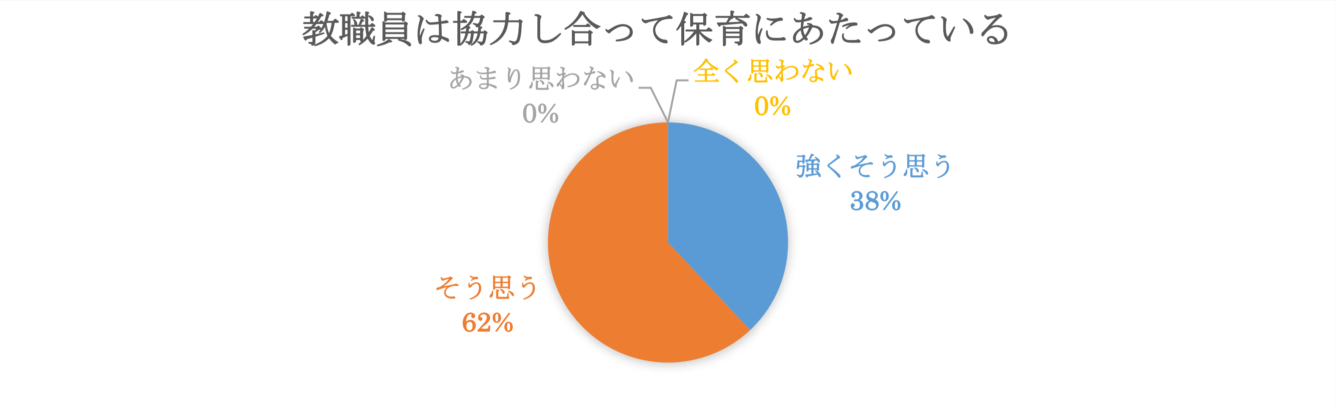

お子さんは登園するのを楽しみにし、充実した園生活を送っている
あまり思わない
1%
全く思わない
0%
そう思う
47%
強くそう思う
52%

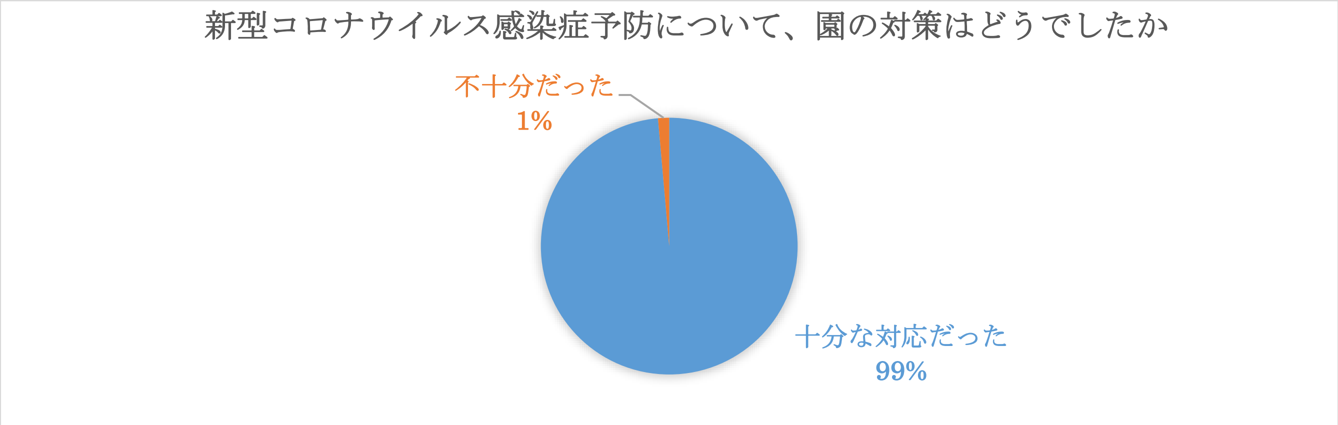

園の行事は楽しく、子供の成長に役立っている
あまり思わない
1%
全く思わない
0%
そう思う
44%
強くそう思う
55%

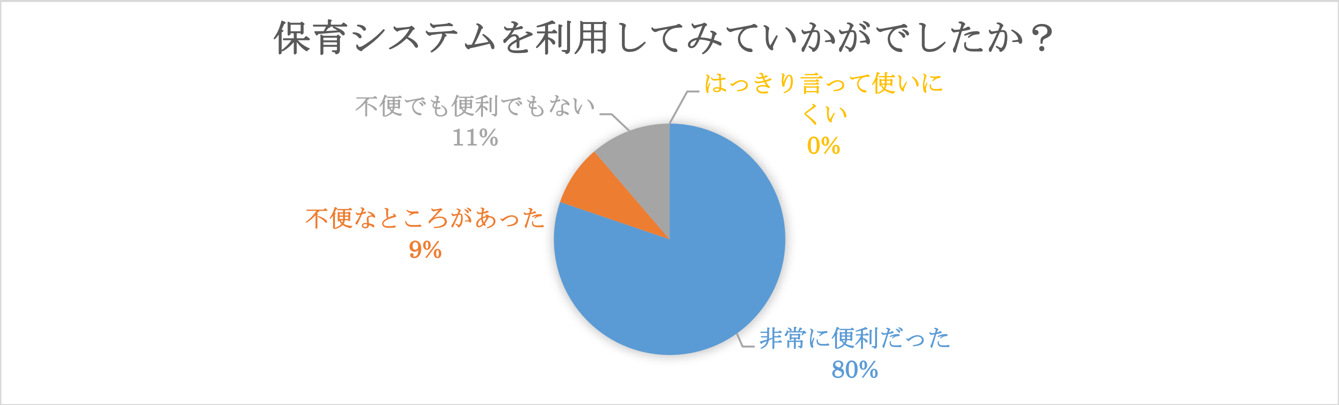

命の大切さや社会のルールを守る態度を育てようとしていると感じられる
あまり思わない
2%
全く思わない
0%
強くそう思う
39%
そう思う
59%

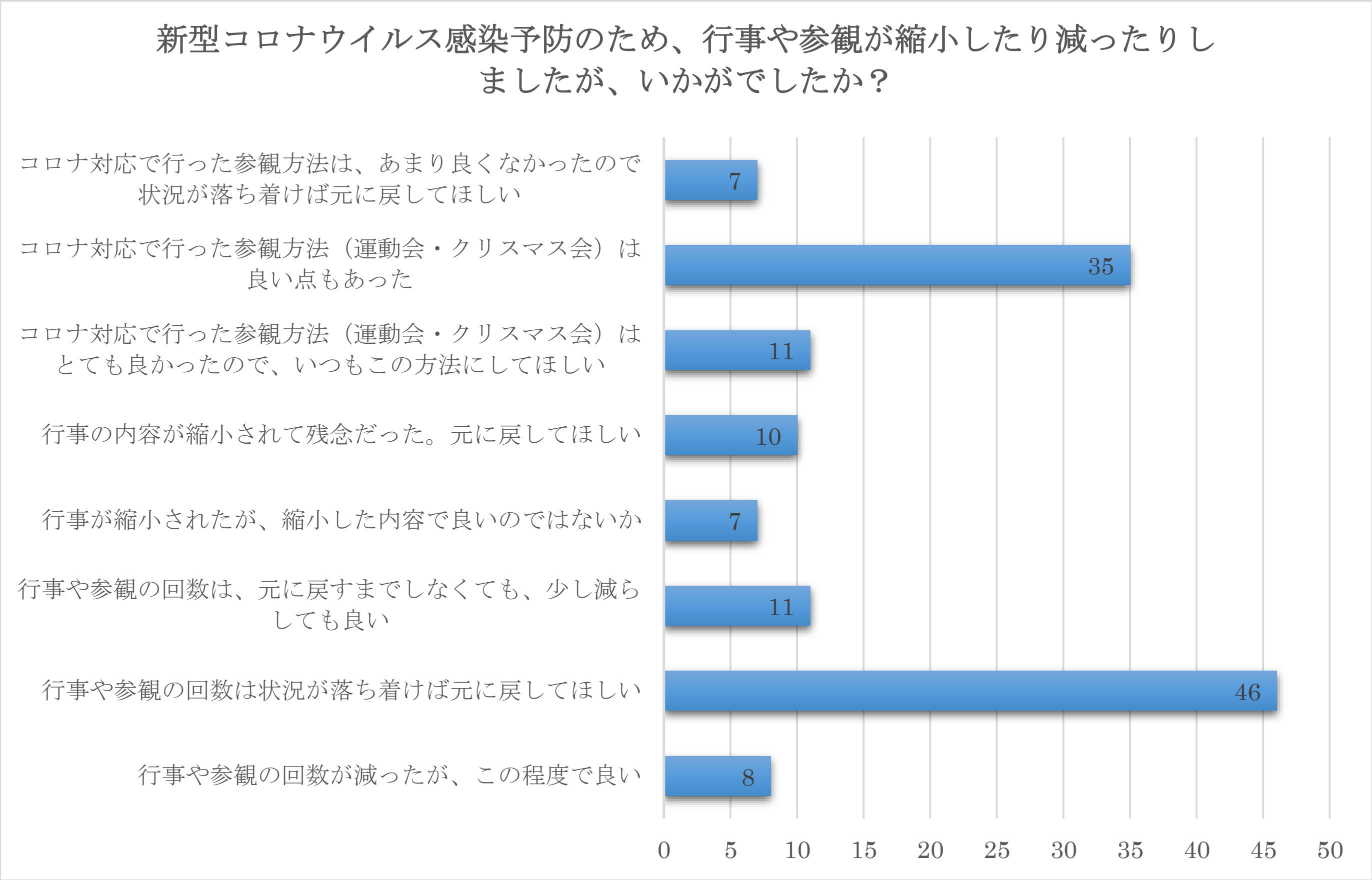

子どもに良い習慣や態度が身に付くように取り組んでいる
あまり思わない
2%
全く思わない
0%
強くそう思う
49%
そう思う
49%


1人ひとりの子どもを大切にしようとしている事が感じられる
全く思わない
0%
あまり思わない…
強くそう思う
49%
そう思う
51%


教職員は協力し合って保育にあたっている
あまり思わない
0%
全く思わない
0%
強くそう思う
38%
そう思う
62%


新型コロナウイルス感染症予防について、園の対策はどうでしたか
不十分だった
1%
十分な対応だった
99%


保育システムを利用してみていかがでしたか？
不便でも便利でもない
11%
はっきり言って使いにくい
0%
不便なところがあった
9%
非常に便利だった
80%


新型コロナウイルス感染予防のため、行事や参観が縮小したり減ったりしましたが、いかがでしたか？
コロナ対応で行った参観方法は、あまり良くなかったので状況が落ち着けば元に戻してほしい
7
コロナ対応で行った参観方法（運動会・クリスマス会）は良い点もあった
35
コロナ対応で行った参観方法（運動会・クリスマス会）はとても良かったので、いつもこの方法にしてほしい
11
行事の内容が縮小されて残念だった。元に戻してほしい
10
行事が縮小されたが、縮小した内容で良いのではないか
7
行事や参観の回数は、元に戻すまでしなくても、少し減らしても良い
11
行事や参観の回数は状況が落ち着けば元に戻してほしい
46
行事や参観の回数が減ったが、この程度で良い
8
0
5
10
15
20
25
30
35
40
45
50